

【事業概要】JFA ところのプロジェクト MIRAI へつなく「夢の教室」in 豊田

(1) 「夢の教室」

夢の教室は、「子どもたちの心身の成長に寄与したい」という主旨で、(公財)日本サッカー協会(JFA)が平成18年に立ち上げたプロジェクトです。サッカーの現役、OB/OGに限らず、多種目の現役アスリートやそのOB/OGの力を得て、彼らを「夢先生」として小中学校の授業に派遣し、「夢の教室」と呼ばれる授業を行います。この教室は体育の授業ではなく、夢先生が、「夢を持つことの素晴らしさ、それに向かって努力することの大切さ」、「仲間と助け合うことの大切さ、相手を思いやること」等について伝えることを目的とし、全国で小学生を対象に約109の自治体、31の自治体(令和6年5月30日時点)で中学生開催しています。

(2) 全国唯一 産学官四者連携による実施体制

豊田市では、多くのトップアスリートが、中京大学やトヨタ自動車(株)をはじめとする学校法人や企業、団体に所属しています。この特徴を活かし、JFAが全国で展開する「夢の教室」をベースとし、JFAから派遣されるアスリートに加え、中京大学やトヨタ自動車(株)等に所属するアスリート・パラアスリート、そして市内企業に従事する社会人や消防士らを「夢先生」として派遣することで協力する独自の体制を構築しました。本事業は、平成26年度に市内小学校3校10クラスでスタートし、平成27年度からは中京大学・トヨタ自動車(株)・JFAとの全国唯一の産学官四者による連携体制となり、『JFA ところのプロジェクト MIRAI へつなく「夢の教室」in 豊田』として実施しています。

